

ウ「墜落・転落」の事例

階段を踏み外して、転落しそうになった

▶ 状況

夕方に工場敷地内の施設警備を行っていた A さんは、夏季の日没を想定して巡回警備を行っていたため、周囲が暗くなってきたにもかかわらず、懐中電灯を装備していなかった。そのため、足元が見にくくなり、非常階段を巡回中に足を踏み外して転落しそうになった。

▶ 主な原因

- ✓ 階段を降下する際に、足元が見にくかった。

▶ 主な対策

- ✓ 転落の危険のおそれがある場所には、照明をつけてもらうように現場責任者・警備責任者に相談する。
- ✓ 夜間や暗がりでは、足元を懐中電灯などで必ず照らすように心掛け、季節変動による日没の時間変化などにも十分留意する。

蛍光灯の交換の際、イスから転落しそうになった

▶ 状況

機械警備を行っている A さんは、拠点の蛍光灯が切れていることに気付いて、蛍光灯の交換をしようとした。脚立を持ってるのが面倒であったため、自席のイスの上に乗って蛍光灯を交換しようとしたところ、キャスターが動き転落しそうになった。

▶ 主な原因

- ✓ 不安定なイスの上で作業してしまった。

▶ 主な対策

- ✓ 高所作業の際は、必ず脚立を使用する。
- ✓ また、脚立を使用する際には、正しく安全な使用方法を心掛ける。

「4.(5)「墜落・転落」災害防止のポイント」参照